

1. ある日イエス様は、弟子たちに一つのお話をなさいました。
2. 「空の鳥を見てごらんください。あの鳥は毎日の生活を心配していると思うかい？」
3. **女房**「あんた、とうとう米びつの中身が何もなくなっちゃったよ。これから二人、どうやって生きていけばいいんだろうねえ・・・。」  
**旦那**「仕方ない、今まで散々あの金貸しに金を借りてきたが、また頭を下げてくるよ・・・」
4. **金貸**「お前、今まで俺からいくら借りたと思ってるんだ!? しかも一円だって返してないじゃないか! それでさらに俺から金を借りようっていうのか!？」  
**旦那**「そこを何とか、何とかお願いします。必ず返しますから、必ず、必ず・・・」  
**金貸**「ふんっ、その言葉は聞き飽きたわい。俺はなあ、お前がどうなろうが知ったこっちゃないんだよ! 金さえ返してくれりゃいいんだ、もちろん利子をきちんとつけてなっ!」
5. 「貧しさに負けた～、いいえ、世間に負けたあ～・・・」
6. **イエス様**「空の鳥がそんなことを考えていると思うかい? そんなはずはないだろう? 神様はね、あの空の鳥さえも生きることが出来るようにしてくださっているんだよ。だったら、みんなのことを愛して、恵みを与えてくださらないはずがないじゃないか。」
7. 次にイエス様は、野の花を見てこう言われました。  
「野の花を見なさい。花はあんなにきれいに咲いているけど、自分で頑張っって美しくなろうとしていると思うかい?」
8. **花**「鏡よ鏡よ鏡さん、この世で一番美しいのはだ～れ? おーほっほっ、それはあたくしに決まっているわあ～。あたくしったら、美しく困ってしまうわ。美しいって、罪かしらん?」
9. **花**「まっ、最近現れたあの子、いったい何なのよ。あたくしよりも派手なドレス着て! 自分が可愛いとでも思っているのかしら? まーっ、凶々しい。子憎たらしいったらありゃしない。」
10. **花**「こうなったら、毒リンゴでも食べさせちゃおうかねえ。この世に美しいのはあたしだけで十分なよ。ケッケッケツ・・・」
11. **イエス様**「野の花がそんなことを考えていると思うかい? そんなはずないだろう? 神様はね、あの野の花さえも、こーんなに美しく咲かせてくださるんだよ。だとしたら、みんなのことを愛して、守ってくださらないはずがないじゃないか。だからね、明日のことを心配しないでいいんだよ。神様を信じて、ゆだねなさい。」

こうしてイエス様は、空の鳥や野の花を見ながら、大切なことを教えてくださったのですね。

12. 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」マタイ6:33

神様はあなたのことを愛しています。だから神様にお祈りして、信頼していくなら、必要なものも、安心できる生活も、豊かな心も、必ず与えてくださるお方なのですよ。  
これはイエス様の約束です。これからもイエス様を信じて、歩んでいきましょう。

おしまい。